

平成21年(第12回)12月議会定例会



平成21年12月議会定例会は、12月8日から15日までの日程で開かれました。一般質問は10日と11日の2日間に渡って行われ、10人の議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議案審議は15日に行われ、提出された10議案は全て原案通り可決されました。

今議会で可決された議案等の概要

(紙面の都合で内容は一部省略してあります)

平成21年度 一般会計補正予算

既定予算の総額に5307万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額を48億5925万3000円としました。(※1)

(財源は、地方交付税、県支出金、諸収入等を充当)

平成21年度 飯館村国民健康保険特別会計補正予算

事業勘定の既定予算の総額に2356万6000円を追加し、歳入歳出予算の総額を9億2570万4000円としました。

主な歳出は、療養給付費交付金返還金2454万4000円などです。

(財源は、国保給付費支払準備基金及び、前年度繰越金等を充当)

平成21年度 飯館村診療所特別会計補正予算

既定予算の総額に、912万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億5371万円としました。

した。

主な歳出は、医科医薬品衛生材料費1067万8000円などです。

(財源は、医科診療収入及び一般会計からの繰入金等を充当)

平成21年度 飯館村介護保険特別会計補正予算

既定予算の総額に11万円を追加し、歳入歳出予算の総額を5億6234万1000円としました。

主な歳出は、職員の人件費11万円の減額、保険給付費の各サービス費を実態に合わせて組み替えを行うものです。

(財源は、一般会計からの繰入金を充当)

平成21年度 飯館村後期高齢者医療特別会計補正予算

既定予算の総額に112万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、6225万6000円としました。

主な歳出は、後期高齢者医療広

域連合納付金114万円です。(財源は、一般会計からの繰入金を充当)

飯館村統合診療所条例の制定

村民等の健康保持に必要な医療等の提供及び介護サービスの提供を行うため、飯館村統合診療所条例を制定するものであり、統合診療所の名称を「いたてクリニック」と命名するものです。

一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会勧告に準じて、職員給与に関する条例等の一部が改正されたことに伴い、任期付職員の期末手当の改正を行うものです。

いたてクリニックの指定管理者の指定について

統合診療所「いたてクリニック」の指定管理者に、福島市の医療法人秀公会理事長 辺 龍秀氏を指定したいので、その議決を求めらるるものです。

デジタルテレビ等の取得について

教育環境整備のため、デジタルテレビ等を取得するため、その議決を求めるものです。

追加議案

平成21年度 センター地区住宅団地建設工事請負契約

3社指名による設計施工プログラムによる簡易型総合評価方式によって、株式会社古俣工務店川俣支店を契約の相手方と決定しましたので、その請負契約について議決を求めるものです。(契約金額6799万3800円)

村長村政報告

(紙面の都合で内容は一部省略してあります)

村表彰式

9月17日村公民館において挙行いたしました。今年の表彰者は、功労表彰2名、善行表彰1名の合わせて3名の表彰を行いました。

※1 一般会計・歳出の主な内容

全国瞬時警報システム設置工事	194万3000円
車輛購入費	440万1000円
地方バス路線維持対策費補助金	182万2000円
21世紀環境共生型住宅整備事業における備品購入費	229万8000円
障がい者多機能型事業所開設に伴う土地及び建物購入費	687万円
国保事業勘定繰出金	△162万6000円
後期高齢者医療特別会計繰出金	112万2000円
ひとり親家庭医療費	100万円
児童保護措置費	366万円
子育て応援特別手当	△619万2000円
南相馬市浄化センター負担金	△317万9000円
ごみ収集パッカー車購入費	1054万5000円
統合診療所庁用器具購入費	750万7000円
診療所特別会計繰出金	814万6000円
中山間地域等直接支払推進支援事業補助金	500万円
きこり宿泊棟廊下空調設備設置工事	210万円
きこり給湯ボイラー改修工事	210万円
あいの沢バンガロー等修繕工事	280万円
除雪作業業務	2000万円
奨学金貸付金	△528万円

村議会議員一般選挙

任期満了に伴う「村議会議員一般選挙」が、9月27日執行され、12人の新議員が決まりました。その後、10月5日に初議会が開催され、新議長等が選出され、現体制となりました。なお、投票率は90.09%で、前回の村議選に比べ0.55%のマイナスとなりました。最も身

近な選挙でも投票率が下がることは憂慮すべきことであり、今後投票率のアップに向けた取り組みを強化してまいります。

平成21年度飯館村総合防災訓練

9月6日、飯櫃地区の村民グラウンドをメイン会場に実施しました。

各行政区で、自主防災組織を中心とした防災訓練を実施し、全体として「発災型対応避難訓練」を行ない、参加者は最後まで真剣に取り組んでいたいただきました。

また、総合防災訓練終了後には、村消防団等による、秋季検閲式を行い、無火災の徹底を図ったところです。

今年11月末まで、建物火災が5件、林野火災が4件、その他の枯れ草火災等が4件の、計13件の火災が発生しました。

特に、8月にはゴミ焼きにより焼死者が1名発生するなど、貴重な生命と多くの財産が失われています。

こうした事態を踏まえ、これからの火災期を迎えるにあたり、12月1日付けで「火災多発

警報」を発令しました。

村はじめ消防団、女性消防隊、広域消防や関係機関団体と一体となって、夜間の防火パレード、夜警や広報の徹底を図り、火災の抑止に努めて参ります。

南相馬圏域定住自立圏構想

南相馬市と共に進めている「南相馬圏域定住自立圏構想」について、県内で初の協定を締結しました。

今後、「共生ビジョン」を今年度内に策定し、圏域全体で一次・二次医療の充実と連携強化、情報通信基盤の整備、公共交通体系の機能強化、ごみ処理業務の広域処理、新図書館蔵書の広域利用、職員の人材育成と相互交流などに取り組むこととしています。

いいたて秋まつり

10月24日・25日の2日間、村民館などを会場に開催されました。

総合文化展、健康フェスタ、相農飯館校の創立60周年記念式典や紅葉祭、JAまつり、商工まつりなど、多彩なイベントが

行われ、家族連れなどで賑わっていたようです。

までいな休日

10月31日から11月1日までの1泊2日で、「までいな休日」が佐須行政区と小宮行政区でそれぞれ行われ、県内外から57人が参加しました。

企画・実施した行政区の皆さんからは、「準備は大変だったが、自分達にとっても充実した2日間であった。参加者にも大変好評だったので、来年度以降も引き続き実施したい」との意見があり、行政区の力を引き出した事業になったようです。

税関系

副村長を本部長とした「特別対策本部」を設け11月から12月末までの期間、全管理職と税務担当職員による滞納世帯の臨戸徴収を実施しています。

経済悪化が雇用情勢を深刻にしており厳しい収納状況ですが、特に今年度は新たな滞納者を増やさないように、現年度課税分のみの滞納世帯を重点的に徴収することとしています。

交通安全運動

12月10日から1月7日までの29日間、「年末年始における事件事故防止活動」が実施されます。

交通事故防止運動のスローガンは「まだいるの、飲んで乗る人飲まず人」であり、「飲酒運転の根絶」が重点です。

飲酒運転の悪質性・危険性、事故の悲惨さを認識し、地域・家庭の協力により飲酒運転の根絶と交通事故防止の徹底を図って参ります。

戸籍電算化

11月9日から戸籍の電算システムを稼動しており、トラブルもなく推移しています。

事務作業の短縮と、戸籍に記載された文字の誤りも解消され、戸籍証明書は横書きになり見やすくなっています。今後さらなる住民サービスに努めて参ります。

統合診療所建設

9月17日に関係者各位の出席のもと、統合診療所建設工事安全祈願祭が執り行われました。本体工事については、来年2月



▲婚活への意見交換を行なう隊員

未竣工、外構工事については、3月末竣工に向けて予定どおり着々と工事が進んでいるところです。

また、薬局については、株式会社インファーマシーズと土地の賃貸契約を締結し、来年4月の統合診療所開所に合わせ開所することになっています。

大きなお世話隊員

少子化対策は、未婚者の婚活(結婚活動)を進めることであると位置づけ、未婚者にとっては「大きなお世話」かも知れないことをあえて進め、村や地域を元気にしていこうという目的で、個人隊員6名と6団体により「大きなお世話志隊」が発足しました。

今後は、定期的な情報の交換、未婚者の交流会の開催、各種イベントへの積極的な参加促進、出合いの場の提供等の支援をしたいと考えています。

健康フェスタ

10月24日にいちばん館で開催し、200人を超える参加者のもとに実施しました。

今年、「いいたてクリニックはこうなる」と題した講演や、子育て支援事業の一環として、家庭で眠っている子育てに関する育児用品の提供を頂き、必要な方に貸し出しを行う「エこ育てリユース事業」の展示と貸し出しも開始しました。

さらに、健康相談コーナー、各事業の紹介、村産の食材と顆粒大豆を利用した「すいト汁」を保健協力委員と食を考える会の協力のもと来場者全員にサービスを行いました。

栄養士の配置と

地域包括支援センター

10月1日から健康福祉課内に栄養士と地域包括支援センターが入りました。このことにより、保健分野における栄養面からの健康づくりが内容の濃いものになるもの

と考えています。

また、地域包括支援センターが保健と福祉分野と一体となることにより、高齢者情報の共有化が図られ、新たなニーズにも即時に対応出来るものと考えています。

新型インフルエンザ対策

9月10日に初めて村内で発症して以来、今日まで感染が続いており、特に、11月7日〜13日にかけては中学生を中心に感染者が急増しています。

重篤者や死亡者は現在のところ出ておらず、比較的軽い症状で済んでいる状況ですが、予断は禁物だと思っています。

今後、本格的流行シーズンに向けて、感染者の増加が予想されますので、村民の方々へ更なる予防のための注意喚起をして参ります。

商工観光関係

10月17日・18日の2日間、首都圏から25名の参加を得て「までいな飯館バスツアー」事業を実施しました。

今年度「観光協会」設立に向け協議を進めてきた中から、「丁

Aそうま、商工会、森林組合がそれぞれの所管する村の観光資源を持ち寄りパッケージ化することで、本村の魅力の商品化しPRできるのでは」と考え、モニターツアーという試みで実施しました。

参加者からは一様に高評価をいただき、本村の観光資源について再認識したところです。

農作物の出荷状況

水稲は、平成21年の作況指数は、県平均が101の平年作であり、浜通りも99のほぼ平年作となっています。

特に、梅雨明け宣言のないまま立秋を過ぎ、生育が心配されましたが、その後の好天で回復したようです。

イモチ病・カメムシ防除として、混合剤を使った無人ヘリで実施した効果もあり、イモチ病・カメムシ等の被害も少なく1等・2等米比率が97%と品質の安定につながったものと思われま

J Aの産米集荷状況は、11月24日現在、農家からの出荷申出数量のうるち・モチ米、合わせて3万383俵に対し、2万7202

依の89・5%の集荷実績です。金額的には、約3億2000万円が昨年より4000万円ほど多くなっています。

また、等級別の割合は一等米が、ウルチとモチ、全体で59%、二等米が37%となっており、7月から8月にかけての長雨にもかかわらず、9月からの好天により、一等米については昨年より24ポイント高くなっています。

野菜の集荷状況

インゲン、6900万円野菜では一番の販売額となっています。生育期の乾燥の影響や7月の低温の影響で、収量が減収しており、金額で6900万円と対前年比にして、97%と僅かですが減額しています。

春ブロッコリーは、5月からの乾燥の影響もありましたが、概ね順調な生育状況であり、秋ブロッコリーも好天に恵まれ生育良好で、面積が2畝ほど増え、単価も良かったことから、約5600万円の販売額となり、対前年比16%と大きく伸ばしています。キュウリについては、若干の面積減少はあるものの生産量は昨年

並みで、前年対比98%の3500万円です。

野菜全体では価格が堅調に推移されていましたが、夏秋期以降好天に恵まれ価格が安値傾向にあります。各品目について生産量が増加したため、約2億7000万円が昨年を約3000万円上回っています。

花卉の出荷状況

トルコギキョウは順調に数量・金額ともに伸びており、昨年に引き続き1億800万円と一億円を超えています。

リンドウは生産量が減少し、昨年の消費落ち込みによる単価の低迷がありました。今年も販売単価が上回っています。

花卉全体では生産量が減少しているものの、出荷時期が良かったこともあり販売単価のアップにつながり、昨年同時期の101%となり1億5080万円となっています。

耕作放棄地対策

平成20年度農業委員会の調べによると、耕作放棄地が約167畝ありました。

耕作放棄地が増大すれば、農

区の接続に与える影響が懸念されることから、今回は接続促進を図ることを前提に料金改定を見送ることにしました。

料金体系についても、現在の料金収入を確保するためには、使用量で試算すると、村の場合、水道加入者に対し農集排の加入者が著しく少ないという特殊事情から、基本料金を相当上げなくてはならないことから、料金体系については、現在の人員割でやむを得ないものと答申されました。

学校における新型インフルエンザの状況

11月に入り急激に感染者が増加したため、11月9日に学校長等による緊急対策会議を招集し、11月10日から13日まで飯館中学校を学校閉鎖し、12月3日から4日まで飯館小学校1・2学年を学級閉鎖としました。相農飯館校においても11月18日から24日まで学校閉鎖となりました。

今後とも、スクールバス、各教室のアルコール消毒が、手洗いの指導徹底を図り、感染防止に努めます。

業生産の効率を低下させるばかりでなく、生産基盤としての機能低下や自然環境保全といった農業・農村の持つ多面的な機能の低下につながりかねません。村では、11月10日に各種団体の関係者9人からなる飯館村耕作放棄地対策協議会を設立し、今後、対策を講じていくこととされています。

畜産の状況

一昨年から続いている飼料価格の高騰は、一定程度落ち着いているようですが、世界的な景気後退にあるため、高級品である牛肉の消費の落ち込みは続いており、これにより枝肉価格も大幅に下落し、この影響により子牛価格も低迷し、本村の畜産に大きな打撃を与えています。

本宮の子牛セリ価格は、昨年から価格低迷が続いています。11月になって子牛平均販売価格が40万円に近づいてきており、このまま高値で推移することを期待しています。

簡易水道事業及び農業集落排水事業

3年毎の料金の見直し年度で

あることから、8月5日に運営審議会を立ち上げ「料金の見直し」について諮問をしました。3回に亘り慎重な審議をしていただき、11月11日に答申を受けました。

水道使用料金の見直しについては、年間の経常経費は当面、料金収入で賄われる状況であり、現時点での住民の負担増については十分検討する必要がある旨の意見でした。

厳しい経済情勢と、水道統合事業による起債償還額や機器修繕等の維持費が見込まれるため、事業の効率的運営をより一層進めることを要望され、今回は3年後に再度見直しすることで料金改定は見送りになりました。

農業集落排水使用料金の見直し及び料金体系の見直しについては、飯館地区の加入状況が70%弱と低迷で料金収入に結び付いていない状況です。

主な理由は、つなぎ込みの際の改修工費が多額、高齢世帯で後継者がいない、使用料金の支払いが大変等で、今後の接続促進に大変憂慮され、現状での使用料金値上げは、更に飯館地

第46回村民体育大会

10月11日に村民の健康の増進と地域の方々の親睦を目的に開催しましたが、多くの村民がスポーツを楽しむとともに、日頃、とかく疎遠となりやすい地域の方々が顔を合わせ、交流を深めることができました。

総合文化展

10月24日から25日の2日間、秋まつりの一環として開催しました。524人の村民から、昨年より102点多い1033点の作品を出品していただきました。

期間中、約1300人の皆さんに来場いただき、盛んな文化展となりました。開催にあたり、会場準備や後片付けなどに多くの村民にボランティアとして協力をいただきました。この場をお借りし、感謝を申し上げます。

第21回ふくしま駅伝

11月15日に白河市から福島市までの96・2キロ、16区間のコースで開催されました。今年もベテラン選手と新人選